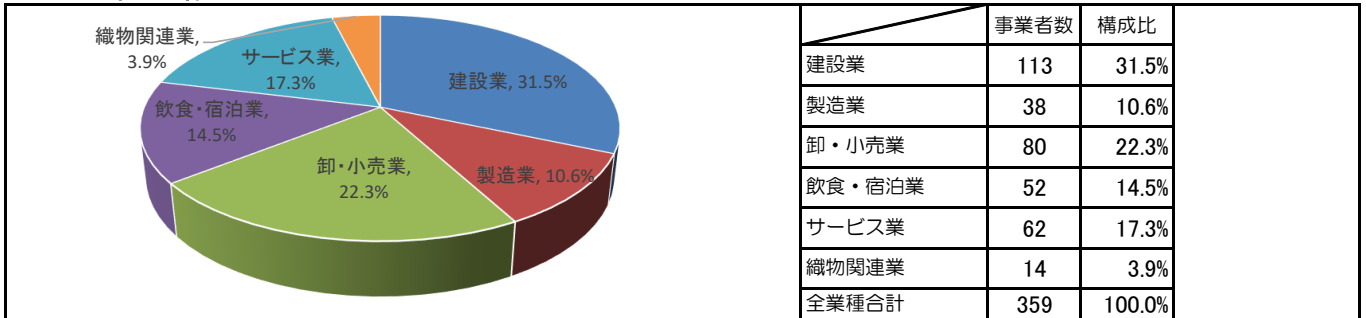


十日町市地域 企業景況調査 第3四半期報告書 (R4.10.1~R4.12.31) 会議所地区

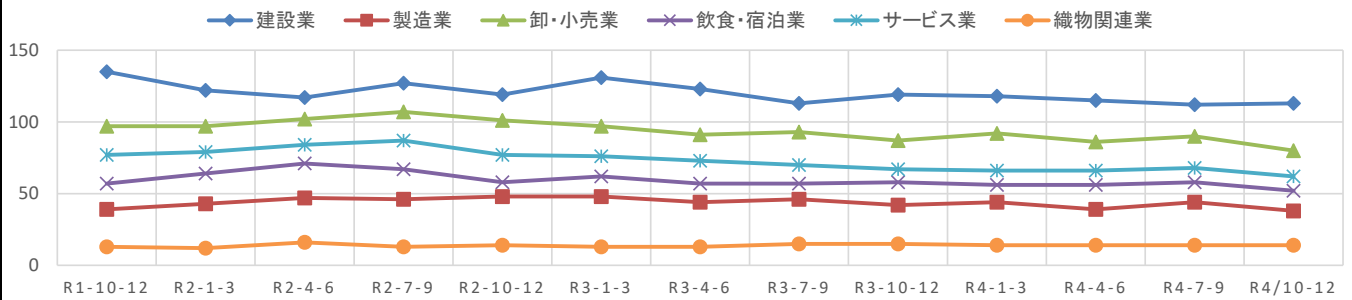
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

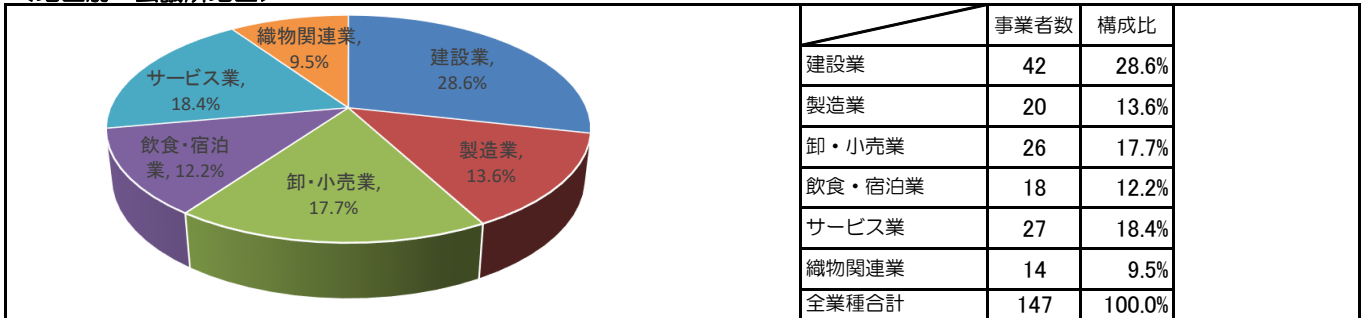


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

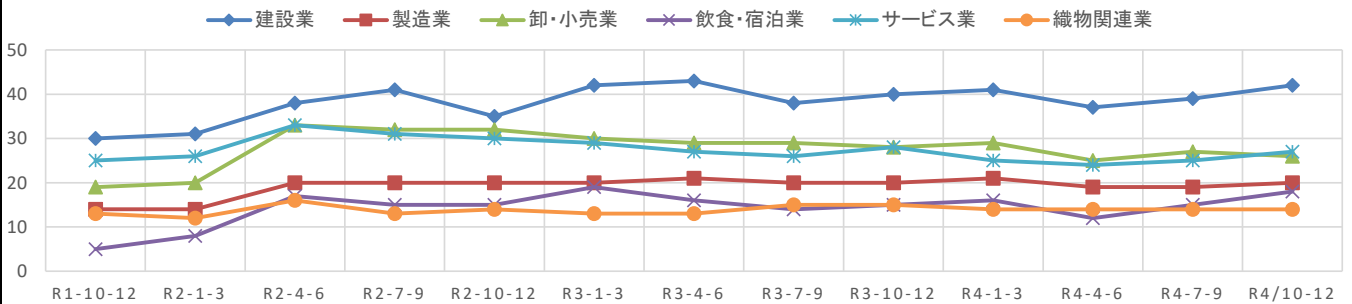


<コメント> 今回の調査は、十日町市内359事業所から回答を得られ、前回調査よりも27事業者減少している。建設業以外の業種において減少が見受けられた。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



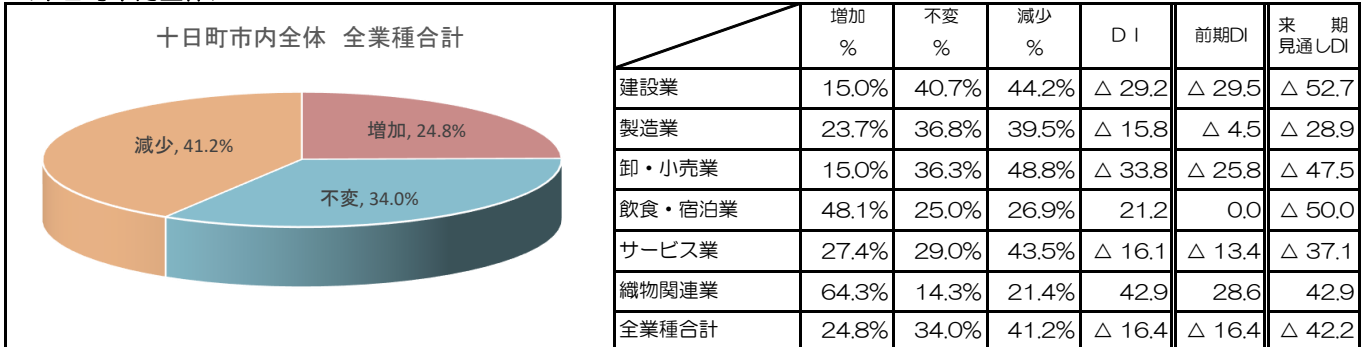
<コメント> 会議所地区の今回の調査回答状況は、配布190事業所のうち147事業所からの回答があり、回収率は77.4%であった(前回:回答事業所139事業所、回収率73.2%)

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

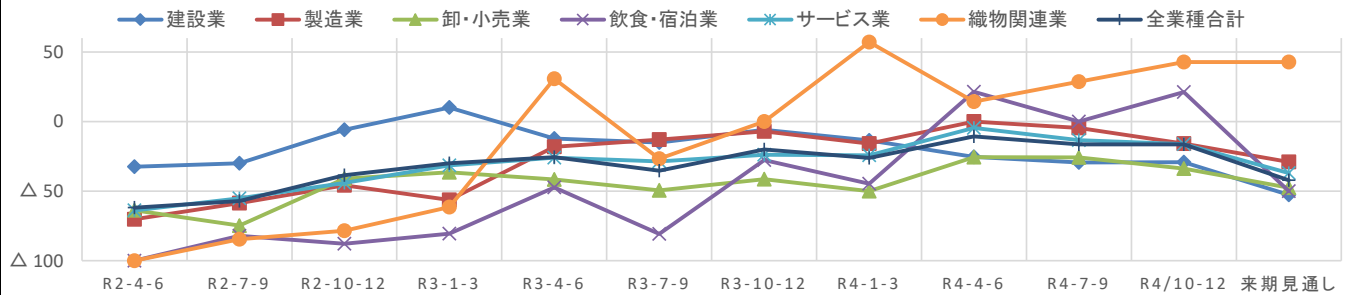
1. 売上について

- ・10月～12月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

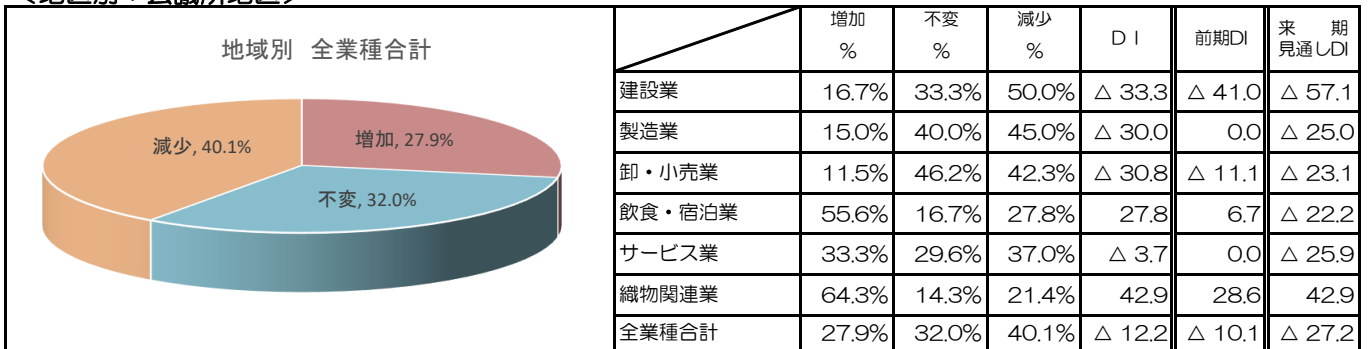


業種別売上の推移（市内全体）

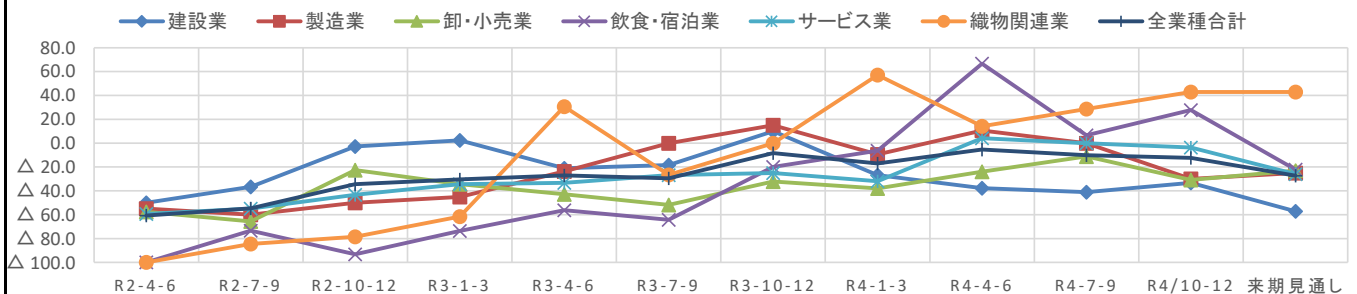


<コメント>十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△16.4ポイントで、前回調査と同DI値となっている。DI値が減少した業種が多い反面、飲食・宿泊業で増加したことが要因である。来期は、織物関連業を除く多くの業種においてDI値が大幅に減少する見通しである。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移（地区別）

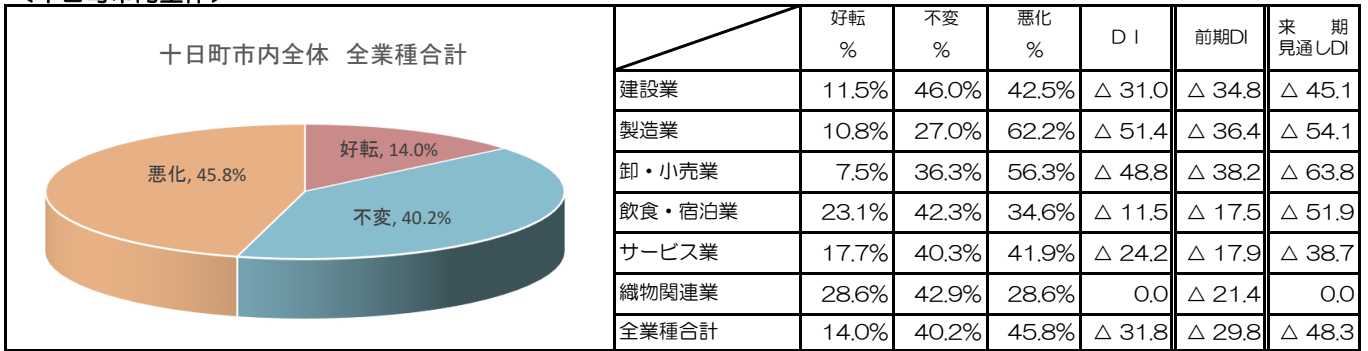


<コメント>会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値が△12.2ポイントで、前回調査時よりも2.1ポイント低下となっている。業種別に見ると、建設業と飲食業、織物関連業が上昇したが、その他の業種は低下している。来期見通しでは、卸・小売業で増加、織物関連業で横ばい、他の業種では減少であり、サービス業については今期に続き来期も大きく減少予測となっている。全業種DI値においても減少の見通しである。

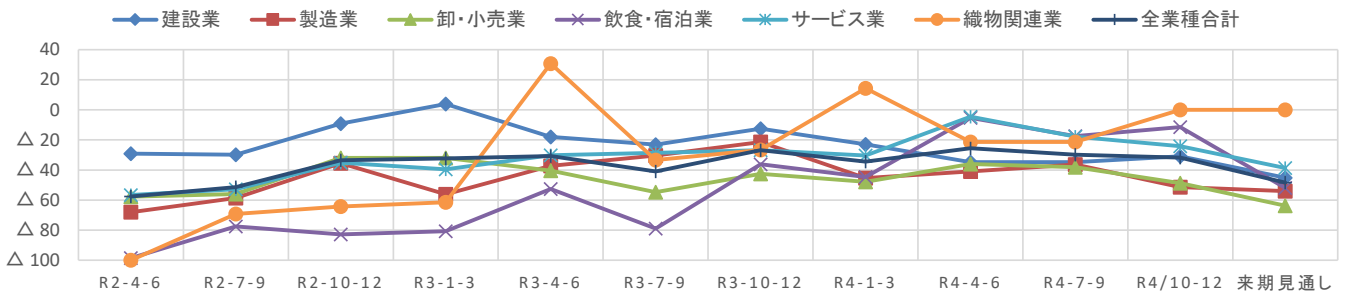
2. 採算について

- ・10月～12月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

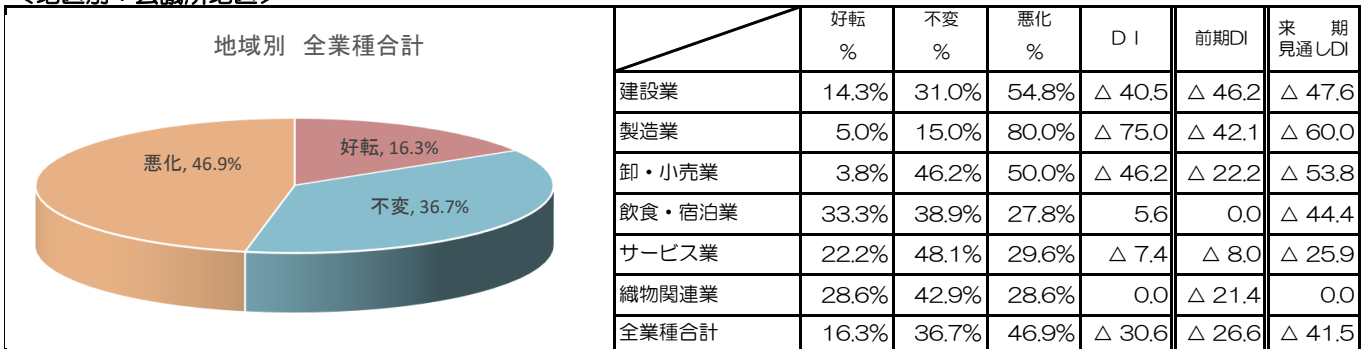


業種別採算の推移(市内全体)

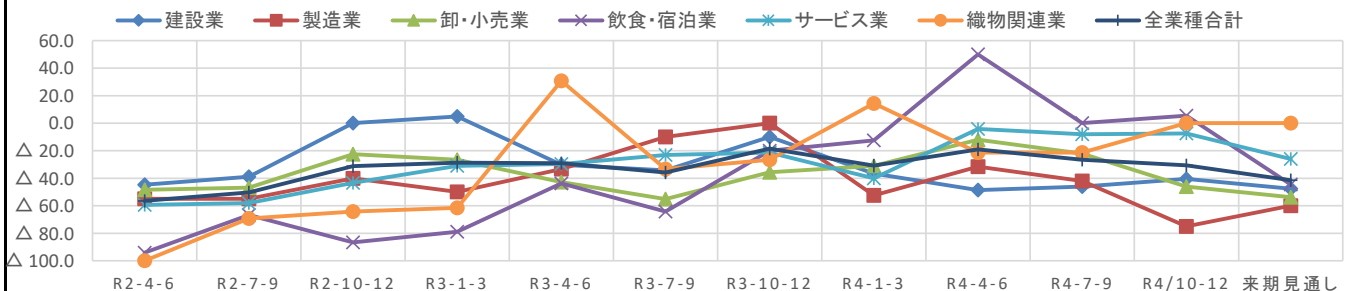


<コメント>十日町市全体の今期の採算状況は、全業種D I値で△31.8ポイントで、前回調査より2.0ポイント悪化している。引き続き原材料、燃料等の高騰の影響が尾を引いていると予想され、特に卸・小売業、サービス業での悪化が目立った。来期見通しでは、引き続き全業種D I値は、悪化する見通しとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別採算の推移(地区別)

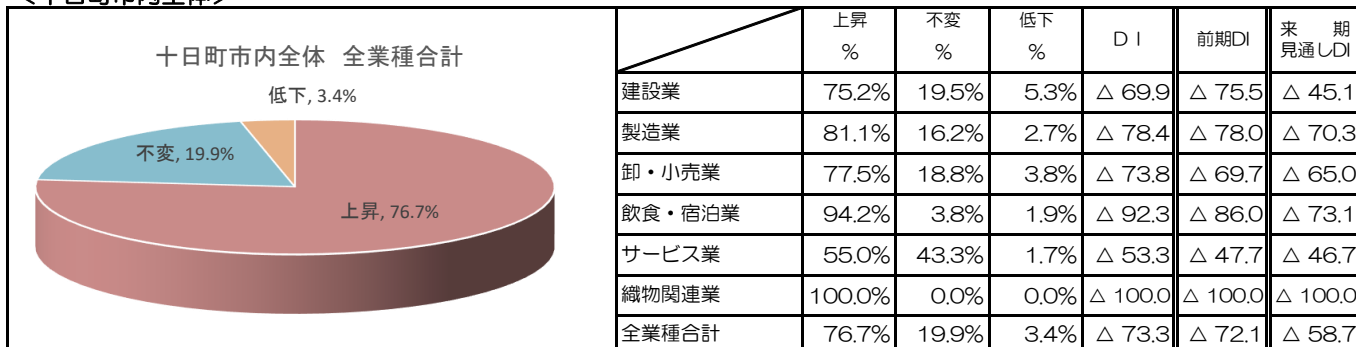


<コメント>会議所地区の今期の採算状況は、全業種D I値が△30.6ポイントで、前回調査時よりも4.0ポイント低下となっている。業種別に見ると、製造業と卸・小売業が悪化し、その他の業種は好転となった。来期見通しでは製造業好転、織物関連業は横ばい予測だが、その他の業種は悪化予測となっており、全業種D I値においても悪化するの見通しとなっている。

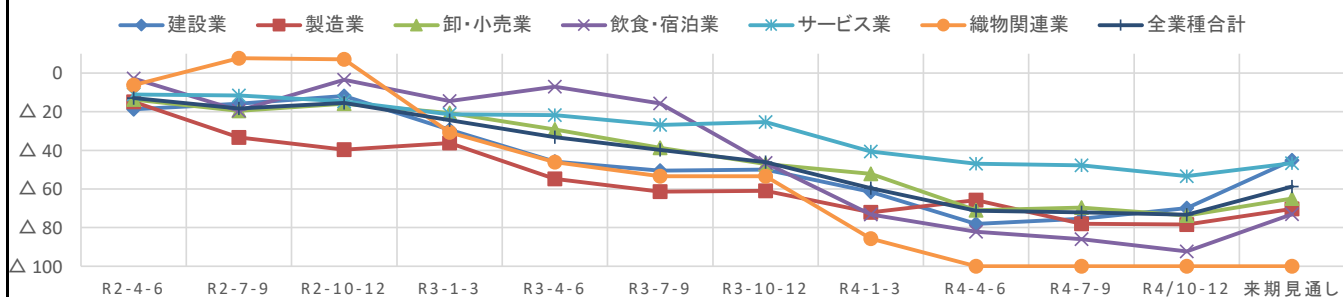
3. 仕入単価について

- ・ 10月～12月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

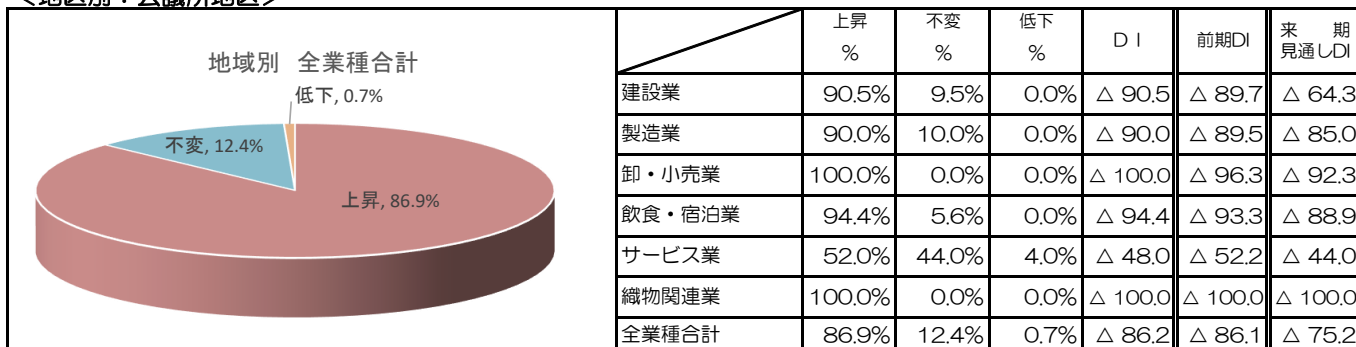


業種別仕入単価の推移(市内全体)

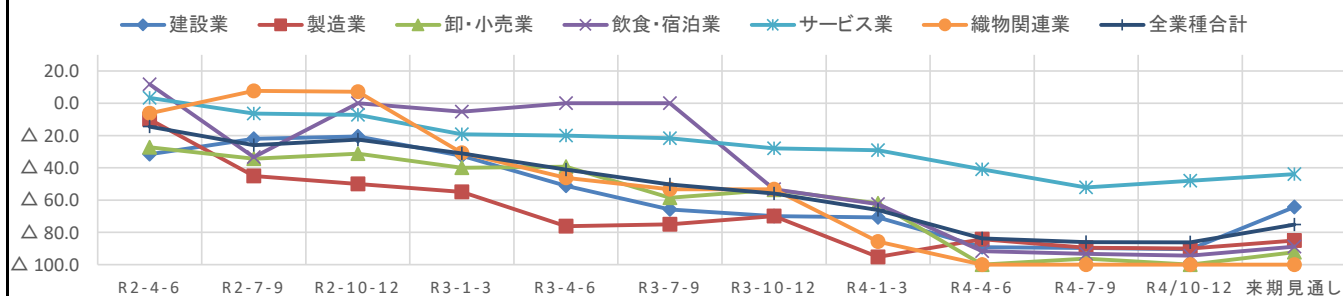


<コメント>十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△73.3ポイントで、前回調査時よりも1.2ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。建設業以外の業種において上昇しており、原材料・燃料高騰の影響が続いていると予想される。来期見通しは、今期よりも仕入単価が低下する見通しであるが、以前として動向には、注視する必要がある。

<地区別：会議所地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)

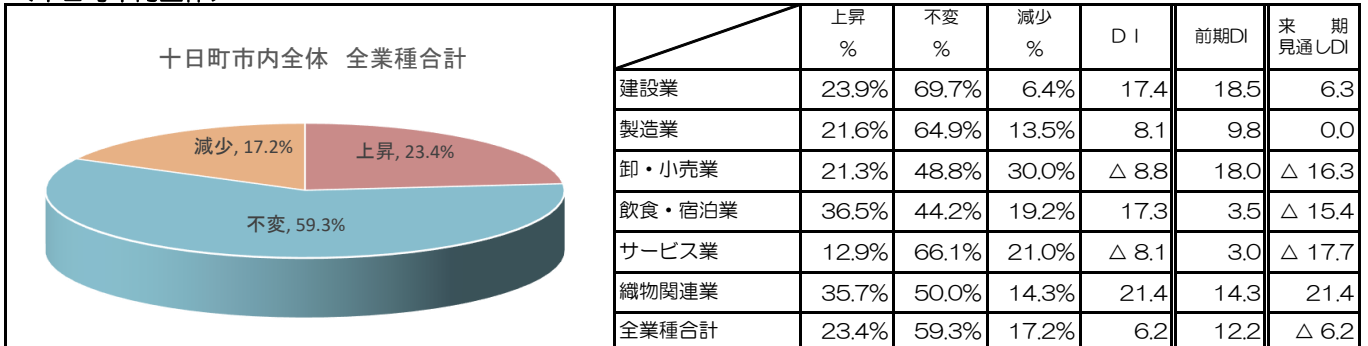


<コメント>会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が△86.2ポイントで、前回調査時よりも0.1ポイント仕入単価上昇となっている。業種別に見ると、サービス業のみ低下しているが、その他の業種では上昇しており、織物関連業においては全企業の回答が仕入単価上昇となっている。来期見通しでは若干の仕入単価低下が予測されているが、原材料、エネルギー価格の高騰の影響が続き、依然として厳しい見通しとなっている。

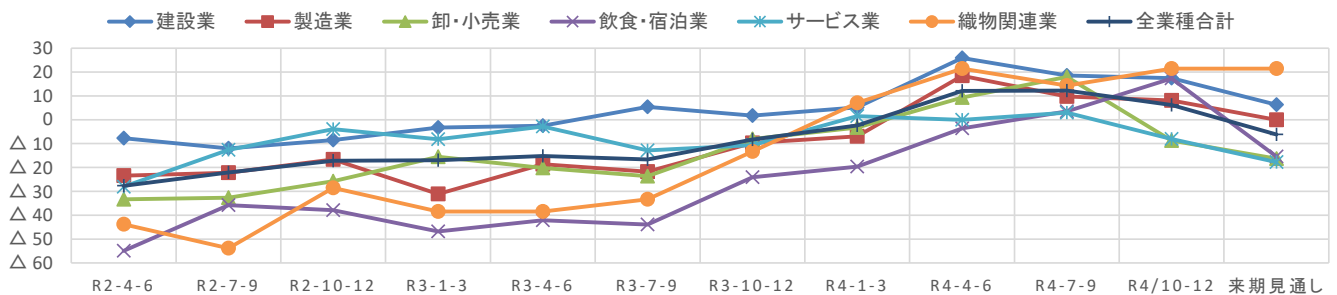
4. 販売（客）単価について

- ・10月～12月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

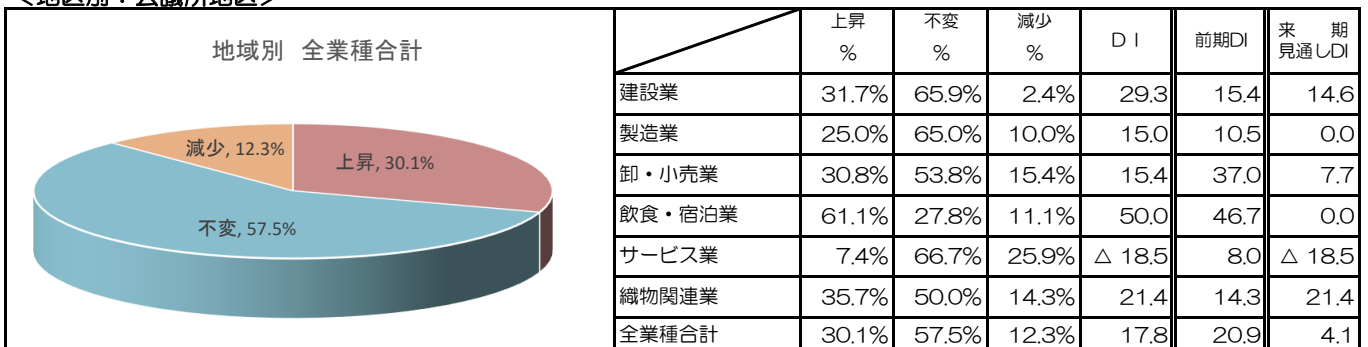


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

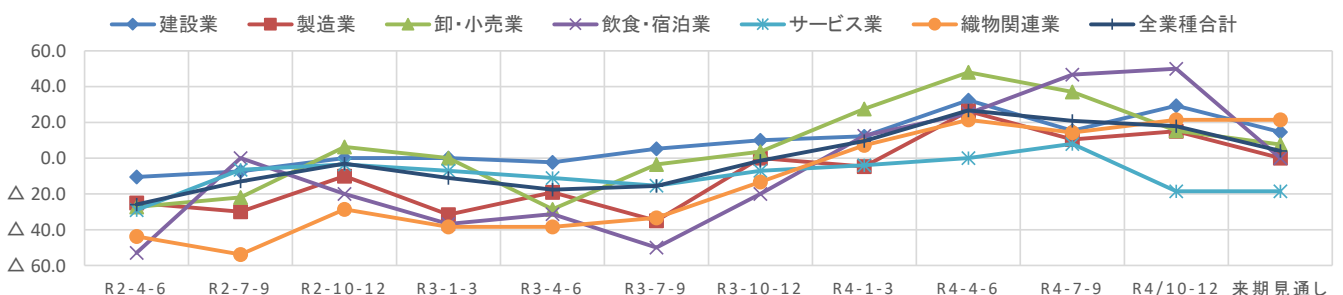


<コメント>十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で6.2ポイントで、前回調査時より6.0ポイント低下している。建設業と卸・小売業、サービス業以外の業種で上昇という形となった。来期に関しては、全業種でさらに低下予測となり、全業種DI値も低下する見通しとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

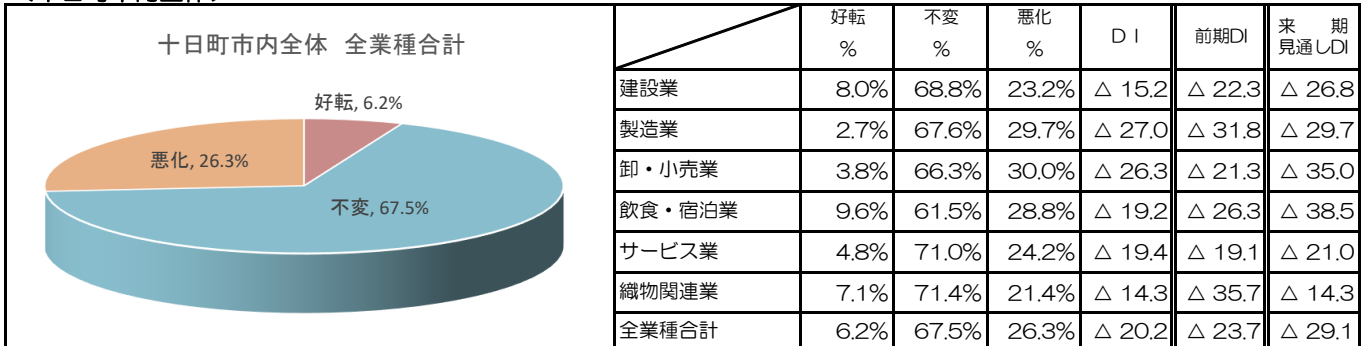


<コメント>会議所地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値が17.8ポイントで、前回調査時よりも3.1ポイント低下している。業種別に見ると、卸・小売業とサービス業が低下し、その他の業種は上昇となった。来期見通しではサービス業と織物関連業が横ばい、その他の業種は低下の見通しとなっており、全業種DI値においても低下する見通しである。

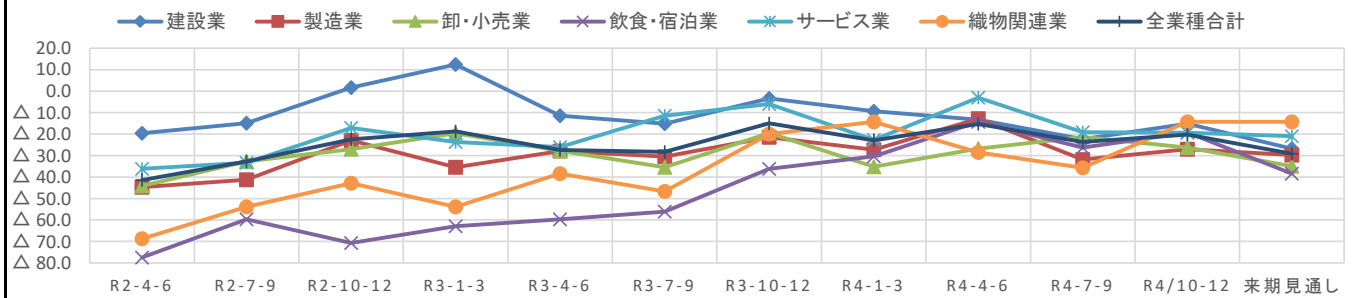
5. 資金繰りについて

- ・10月～12月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

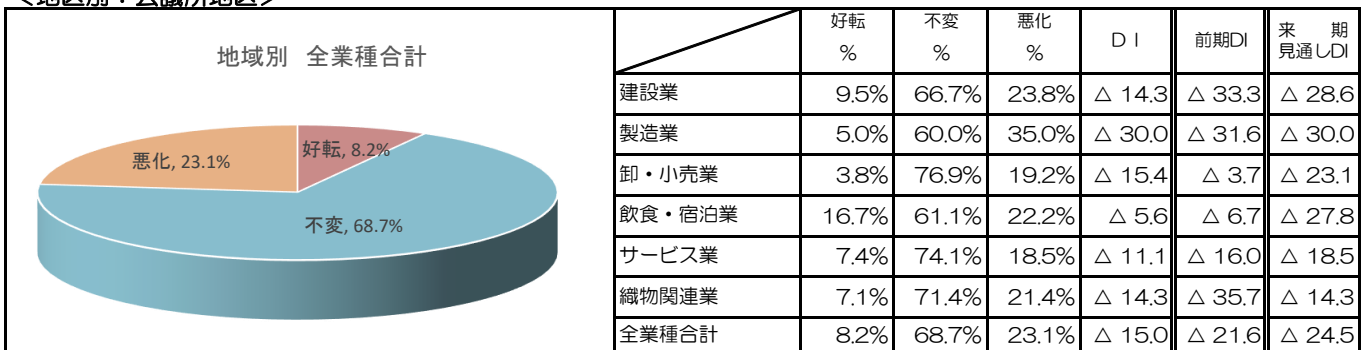


業種別資金繰りの推移(市内全体)

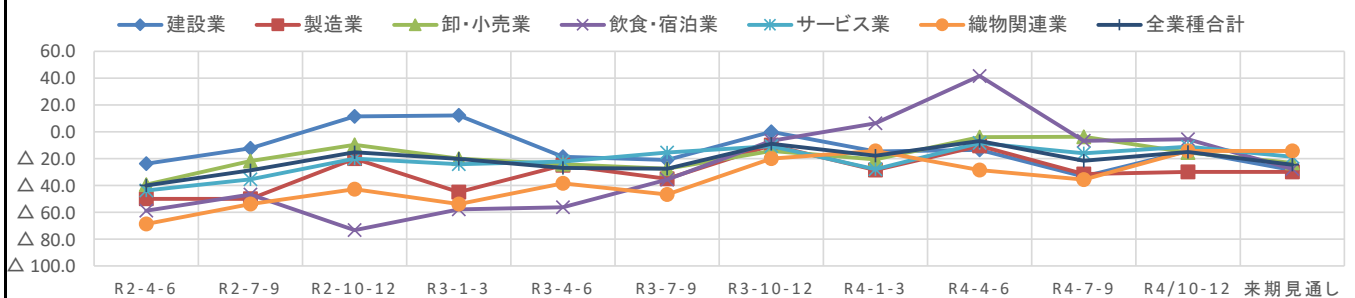


<コメント>十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△20.2ポイントで、前回調査時より3.5ポイント改善している。卸・小売業、サービス業以外の業種で改善という形となった。来期見通しとしては、全業種で悪化予測となり、全体DI値についても悪化する見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

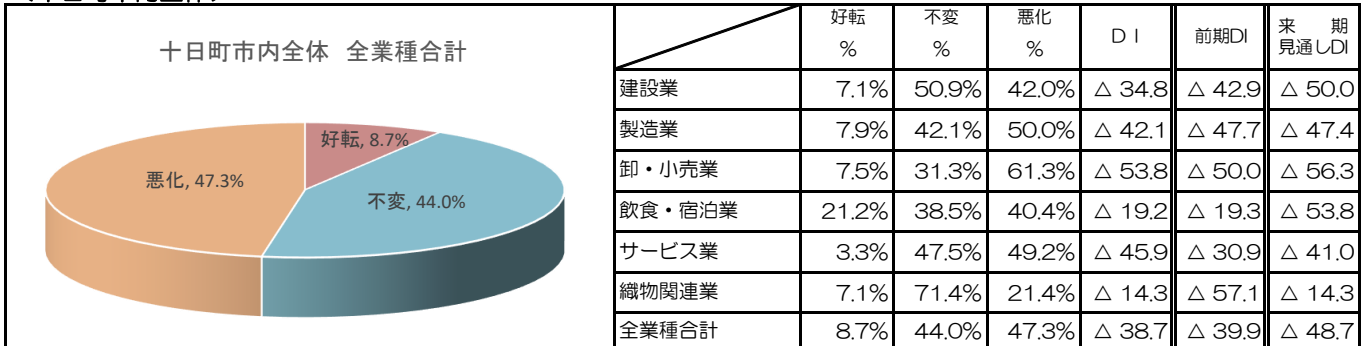


<コメント>会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△15.0ポイントで、前回調査時よりも6.6ポイント好転している。業種別に見ると、卸・小売業が悪化しているが、その他の業種は好転となった。来期見通しでは製造業と織物関連業が横ばい、その他の業種は悪化の見通しとなっており、全業種DI値においても悪化の見通しである。

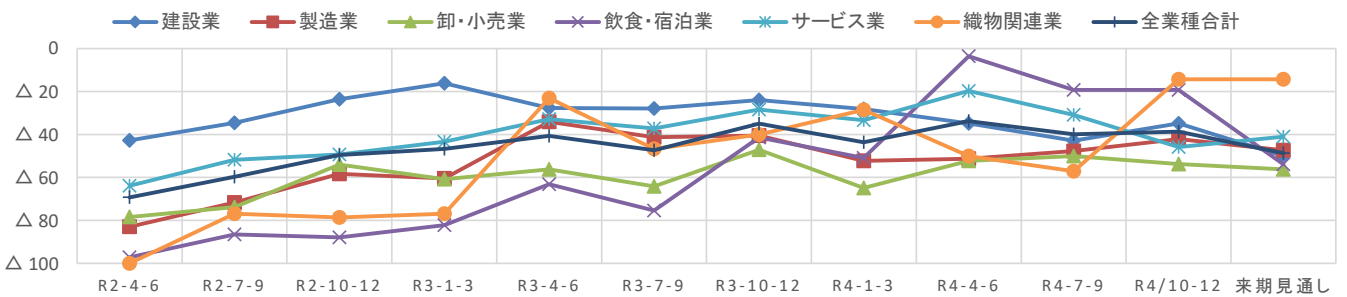
6. 景況判断について

- ・10月～12月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

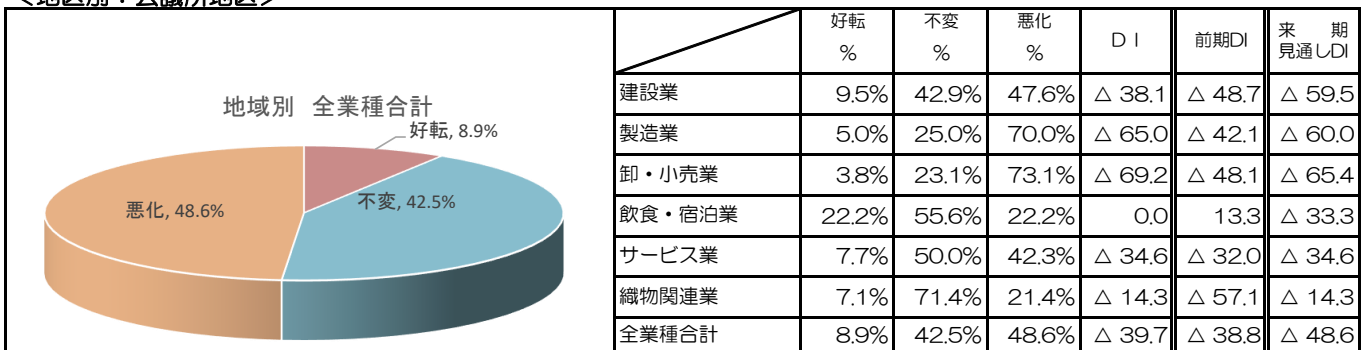


業種別景況判断の推移(市内全体)

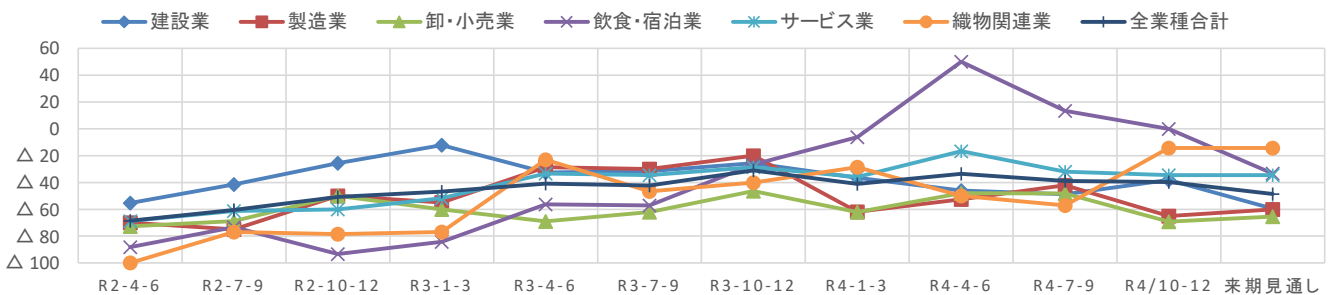


<コメント>十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△38.7ポイントで、前回調査時よりも1.2ポイント改善している。卸・小売業、サービス業で悪化が見受けられた。来期見通しは、サービス業以外で悪化予測となり、全業種DI値についても悪化の見通しとなっている。今後の動向に注視したい。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

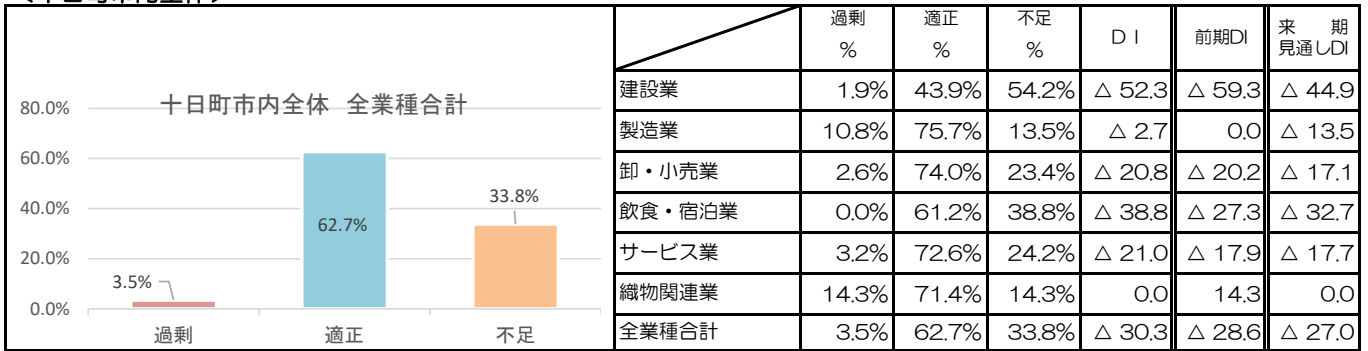


<コメント>会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△39.7ポイントで、前回調査時よりも0.9ポイント悪化している。業種別に見ると、建設業と織物関連業が好転しているが、その他の業種は悪化となった。来期見通しでは製造業と卸・小売業が好転、サービス業と織物関連業が横ばい、その他の業種は悪化の見通しとなり、全業種DI値においても悪化の見通しである。

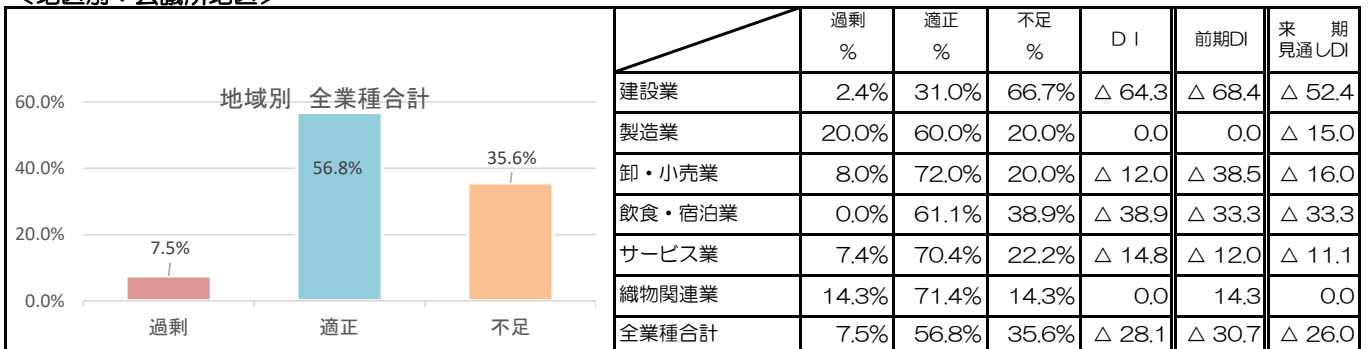
7. 従業員数について

・10月～12月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



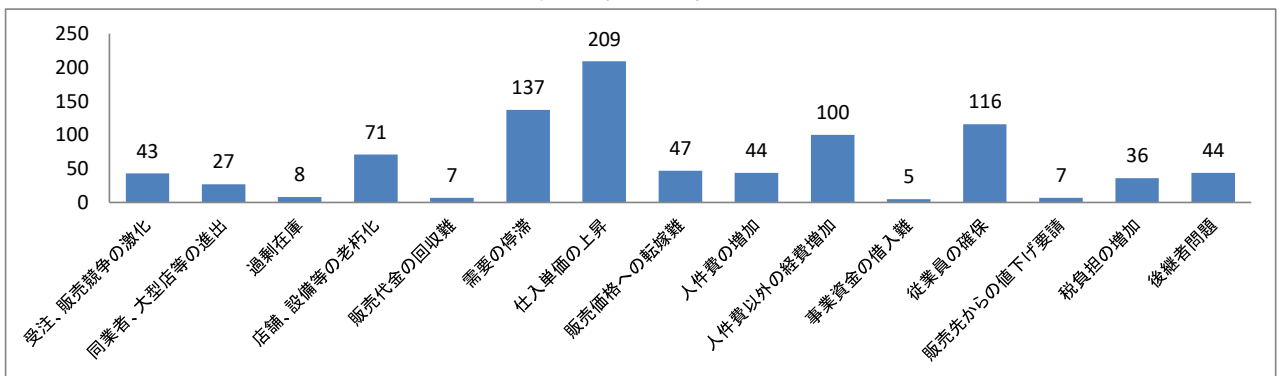
<地区別：会議所地区>



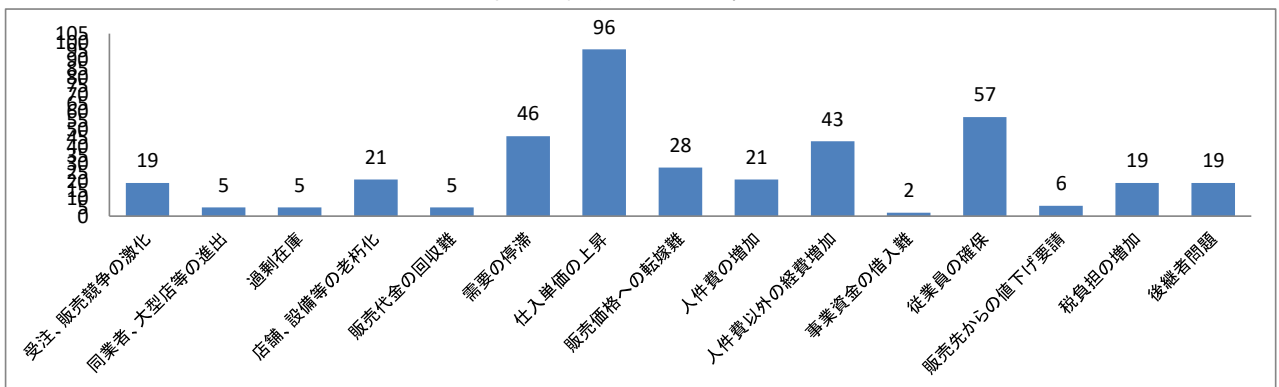
<コメント>今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が0.5%減少、適正回答が0.7%減少、不足回答が1.3%前回調査時よりも増加している。会議所地区の状況は、全業種合計では適正回答が一番多いものの、建設業においては66.7%が不足と回答している。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：10月～12月

十日町市内全体 全業種合計



十日町商工会議所地域 全業種合計



<コメント>今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の確保」となり、上位3項目の変動はなかった。会議所地区の経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位が「従業員の確保」、3位が「需要の停滞」となっている。

9. 地区の景況概要

・10月～12月時点での全体概況は

【建設業】

今期の建設業の状況は、ほとんどの項目で好転しているが、仕入単価は全回答のうち90.5%が上昇したとの回答となっている。来期見通しにおいては、仕入単価低下が予測されるが、他の項目は全て悪化の見通しとなった。経営上の問題点は、「従業員の確保」と「仕入単価の上昇」が多く回答されている。

【製造業】

今期の製造業の状況は、販売(客)単価と資金繰りは好転し、その他は悪化している。来期見通しにおいては販売(客)単価が悪化、資金繰りが横ばいの予測だが、その他は好転の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「販売価格への転嫁難」「人件費以外の経費増加」の順に多く回答されている。

【卸・小売業】

今期の卸・小売業の状況は、全ての項目において悪化となった。来期見通しにおいては採算、販売(客)単価、資金繰りの悪化が予測されるがその他は好転の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「従業員の確保」「需要の停滞」の順に多く回答されている。

【飲食・宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、仕入単価と景況判断が悪化しているが、その他は好転している。来期見通しにおいては仕入単価低下の予測ではあるが、その他については悪化の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」の順に多く回答されている。

【サービス業】

今期のサービス業の状況は、採算、仕入単価、資金繰りは好転しているが、売上、販売(客)単価、景況判断は悪化している。来期見通しにおいては仕入単価が好転予測、販売(客)単価と景況判断が横ばい予測ではあるが、その他については悪化の見通しとなった。経営上の問題点は、「販売価格への転嫁難」「人件費の増加」「事業資金の借入難」の順に多く回答されている。

【織物関連業】

今期の織物関連業の状況は、仕入単価が横ばい、その他は好転となった。特に仕入単価においては前回同様100%が上昇したと回答している。来期においては、全ての項目で横ばいの見通しである。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「販売価格への転嫁難」の順に多く回答されている。